

9月15日（金）、1年3組で国語科の努力点公開授業が行われました。
単元は、「なつのおもいでをはなそう」です。ねらいは次の二つです。

- ① 話し手のねらい
聞き手を意識して、ゆっくりと聞こえる声で話すことができるようにする。
- ② 聞き手のねらい
話し手の話にうなずいたり、「いいねボタン」を挙げたりして、話に反応しながら聞くことができるようにする。



【いいねボタン】

初めに、話すときのポイントを確認しました。児童は、「大きい声」や「目を見る」と発言しました。続いて、聞くときのポイントを確認しました。児童は、「うなずく」と発言しました。そこで、教師が、「今日は感想も言ってほしいです」と付け足しました。例として、「よかったですね」「〇〇したのですね」という言葉を示しました。そして、教師が発表の例として、誕生日にももらったプレゼント（黒板消しの形をした枕だそうです）について発表をしました。児童に感想を聞くと、「誕生日プレゼントをもらってよかったですね」や「学校のことを思い出せてよかったですね」と、心温まる素敵な感想を聞くことができました。



【発表の例を示す教師】

次に、発表の練習をしました。「ひとり練習」といって、耳に手を当て、自分の声だけが聞こえるようにしました。こうすることで、友達の声と重なって練習しづらくなることを防ぐことができます。



【「ひとり練習」をする児童】

いよいよ、発表会です。話し手の児童が発表をすると、聞き手の児童から「よかったですね」という感想が聞かれました。また、「いいねボタン」が次々と挙がり、話し手の児童もうれしそうでした。

前半が終わり、振り返りをしました。このように、授業の途中でも振り返りをすることは、自分の課題を見付ける上でとても有効です。次に話す児童も、何に気を付けるとよいのかが分かり、よりよい発表が期待されます。

後半になり、残りの児童が発表をしました。聞き手の児童からの質問も多く、友達の発表を考えながら聞いていることが分かりました。



【発表する児童と、質問をする児童】

後半を終え、振り返りをしました。その後、誰の発表がよかったかを児童に聞きました。すると、たくさんの友達の名前が出ました。理由を聞くと、「声がよく聞こえた」や、「話が面白かった」という声が聞かれました。互いを認め合うことで、児童は安心して発表をしたり、学習に取り組んだりすることができます。チャイムの後、ある児童が「あぁ、楽しかった」と言いました。話すこと・聞くことを、素直に楽しむことができた授業でした。